



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日  
東

上場会社名 株式会社NextOne 上場取引所  
コード番号 7094 URL <https://www.nex-tone.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 阿南 雅浩  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 史弘 (TEL) 03-5475-5029  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,744	36.4	516	△2.0	517	△2.3	404	12.0
2023年3月期第3四半期	6,412	15.3	527	15.5	529	14.9	360	13.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 376百万円(4.4%) 2023年3月期第3四半期 360百万円(13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	41.59	41.06
2023年3月期第3四半期	37.25	36.61

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,664	5,075	30.7
2023年3月期	7,821	3,574	45.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,892百万円 2023年3月期 3,574百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	58.8	600	△28.6	600	△28.7	400	△36.6	41.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社レコチョコク、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	9,849,000株	2023年3月期	9,808,800株
2024年3月期3Q	192,610株	2023年3月期	96,537株
2024年3月期3Q	9,716,764株	2023年3月期3Q	9,687,508株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

決算補足説明資料は2024年2月9日(金)にTDnetにて開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。また、決算説明動画を後日当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結範囲の変更又は持分法適用範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開する音楽関連市場は、一般社団法人日本レコード協会の調べによりますと、音楽ソフト（音楽ビデオ含む）の生産金額は前年同期比109%（2023年1月～12月）と、CD/映像ソフトのリリースは堅調に推移しており、有料音楽配信売上金額は前年同期比113%（2023年1月～9月）と、その内訳をみるとダウンロードは縮小傾向にあるもののサブスクリプション型や広告収入型の音楽配信サービス等のストリーミング配信市場が引き続き拡大しております。このような情勢において、当社グループは、「権利者に選ばれ、利用者から支持される著作権管理事業者となる。」という経営理念の下、次代を奏でる著作権エージェントとして、新しいテクノロジーを適切に導入しながら、公平・公正かつ透明性の高い著作権使用料の徴収・分配、著作物利用に対する迅速かつ柔軟な対応などに取り組んでまいりました。また、当社グループはこれまで企業価値向上のため事業基盤となる管理楽曲や取扱原盤を着実に積み上げ、DX推進による業務効率化、ソリューション型営業による取引拡大、楽曲・コンテンツの更なる利用促進、権利者へのマーケティングデータの提供等により上場以来増収増益を継続してまいりました。

そのような中、既存事業のこれまでの成長スピードの更なる加速と、長期的な成長基盤拡充のため、2023年9月28日公表の「株式会社レコチョクとの戦略的な資本業務提携及び連結子会社化に関するお知らせ」のとおり、株式会社レコチョク（以下、「レコチョク」）との資本業務提携を実施し、両社グループのシナジー発揮による既存事業の成長だけでなく将来的な新規事業の創出を目指しております。また、本提携により、レコチョク及びその子会社である株式会社エッグス（以下、「エッグス」）を連結の範囲に含めたことにより、両社の貸借対照表は第2四半期連結会計期間より、両社の損益計算書は当第3四半期連結累計期間より、連結しております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、主力の著作権管理事業及びデジタルコンテンツディストリビューション事業が堅調に推移した他、新たにレコチョク及びエッグスを連結の範囲に含めたことにより売上高は大幅増収となりました。利益面では、既存事業の増収に伴う増益の他、前年同期に発生した役員退職慰労金制度廃止に伴う一時的な人件費増加要因がなくなったことがあった一方、新たに連結の範囲に含めた連結子会社における成長分野への先行投資により、営業利益及び経常利益は減益となりましたが、連結子会社において補助金の収入を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

以上の結果、売上高は8,744,991千円（前年同期比136.4%）、営業利益は516,542千円（前年同期比98.0%）、経常利益は517,222千円（前年同期比97.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は404,131千円（前年同期比112.0%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間においてレコチョク及びその子会社エッグスを連結の範囲に加え、当第3四半期連結会計期間より両社の損益計算書を新たに連結したことにより、当社グループ全体の事業範囲が拡大したため、事業区分及び事業活動の実態を適切に表すとともに、事業内容を明瞭に表示する目的から、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更いたしました。従来の「著作権等管理事業」及び「キャスティング事業」の2区分から、「著作権管理事業」、「デジタルコンテンツディストリビューション（DD）事業」、「音楽配信事業」の3区分へと変更し、報告セグメントに含まれない事業を「その他」としてしております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### ① 著作権管理事業

変更前のセグメント区分における「著作権等管理事業」に含めていた楽曲の著作権に関わる2つの業務、当社の基幹事業である音楽著作権管理業務と、子会社の株式会社エムシーエスピーで展開している音楽出版事業を合わせて、新たに「著作権管理事業」としてセグメントを設定いたしました（従来の「著作権等管理事業」から組み換え）。

音楽著作物の利用時期と当社著作権管理業務の売上計上時期にはおおよそ1～2四半期のタイムラグが生じるため、当第3四半期連結累計期間の音楽著作権使用料の対象となる利用時期は主に2022年10月～2023年9月となります。

当該期間における著作権管理業務は、CD/映像ソフトのリリース、配信市場の伸長、管理楽曲の増加が堅調に推移するとともに新規取引先開拓や楽曲特定精度の向上による徴収額増加等に取り組んでまいりました。また、「演奏権」「海外」の取扱高も順調に増加しております。

以上の結果、売上高は857,133千円（前年同期比119.0%）、セグメント利益は349,684千円（前年同期比100.4%）となりました。

## ② デジタルコンテンツディストリビューション（DD）事業

変更前のセグメント区分における「著作権等管理事業」に含めていた当社DD業務に、レコチョク及びエッグスのDD業務を加え、新たに「デジタルコンテンツディストリビューション（DD）事業」としてセグメントを設定いたしました（従来の「著作権等管理事業」から組み換え）。

当第3四半期連結累計期間のDD事業の業績は、レコチョク及びエッグスのDD業務においては両社の損益計算書の連結を開始した2023年10月から12月までの業績であることから、売上の大半を当社のDD事業の業績が占めております。

当該期間におけるDD事業は、取扱原盤が順調に増加したこと等により業績は堅調に推移いたしました。Afterコロナにおける余暇時間の使い方の変化や配信市場規模拡大に伴う市場成長率の変化の傾向がみられる中、更なる営業活動の強化による新規取引先との契約や、海外におけるコンテンツの配信拡大を目指し米国の音楽テクノロジー企業「AudioSalad」社とのパートナーシップの構築等に取り組みました。

以上の結果、売上高は5,512,985千円（前年同期比104.6%）と増収となりましたが、レコチョクにおけるシステム開発等の先行投資により、セグメント利益は619,879千円（前年同期比85.7%）となりました。

## ③ 音楽配信事業

レコチョクにおける従前からの基幹事業である音楽配信（個人向け・法人向け）を「音楽配信事業」として新たにセグメントを設定いたしました。個人向けの音楽配信は単曲ダウンロード及び定額制ストリーミングサービス、法人向けの音楽配信は店舗、カラオケボックスや結婚式場向けのBGM配信サービスとなります。

なお、当第3四半期連結累計期間の音楽配信事業の業績は、レコチョクの損益計算書の連結を開始した2023年10月から12月までの業績となります。

当該期間における音楽配信事業は、主力サービスの「dヒッツ」が安定的に推移したほか、店舗向けBGM配信サービスの契約店舗数の拡大等に取り組み、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,960,354千円、セグメント利益は304,736千円と、レコチョクの新規連結により前年同期比で純増加となりました。

## ④ その他

上記「著作権管理事業」、「デジタルコンテンツディストリビューション（DD）事業」、「音楽配信事業」に含まれない各種の事業を「その他」としております。

「その他」に含まれる事業といたしましては、変更前のセグメント区分における「キャスティング事業」、当社子会社である株式会社NexToneシステムズにおけるシステム開発、レコチョクにおけるレコード会社・音楽プロダクション向けソリューション事業、及びエッグスにおけるインディーズアーティスト向け活動支援のエージェント事業等となります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、キャスティング事業においてAfterコロナでのリアルイベント活性化を受け、人気アーティストのコンサートツアーや人気ミュージカルのライブビューイングが好調であったことに加え、自主興行フェスの開催等様々なサービスの開発提供に取り組んだ他、システム開発、ソリューション事業、エージェント事業において着々と各事業の拡大を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は944,658千円（前年同期比135.6%）と増収となりましたが、レコチョクのソリューション事業におけるシステム開発の先行投資等によりセグメント損失は28,750千円（前年同期は46,268千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間末より株式会社レコチョコク（以下、「レコチョコク」）及び株式会社エッグス（以下、「エッグス」）を企業結合した影響が含まれております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて4,842,947千円増加し、12,664,324千円となりました。これは主に、レコチョコク及びエッグスを新規連結したことに伴う資産の増加5,370,497千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて3,342,262千円増加し、7,589,243千円となりました。これは主に、レコチョコク及びエッグスを新規連結したことに伴う負債の増加2,875,494千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,500,684千円増加し、5,075,080千円となりました。これは主に、レコチョコク及びエッグスを新規連結したことに伴う非支配株主持分の増加1,183,061千円のほか、利益剰余金の増加404,131千円によるものであります。

利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

2023年9月28日に公表いたしました「株式会社レコチョコクとの戦略的な資本業務提携及び連結子会社化に関するお知らせ」に記載の通り、本提携に伴い株式会社レコチョコク及びその子会社である株式会社エッグスが当社の連結対象会社となったため、2024年3月期第2四半期連結会計期間末において両社の貸借対照表を連結し、2024年3月期第3四半期連結会計期間より両社の損益計算書を連結しております。当該影響を精査し今後の業績見通しに織り込んでおります。詳細は2023年11月10日に公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,041,222	7,611,503
受取手形及び売掛金	282,177	1,754,056
商品	—	95
仕掛品	796	19,502
貯蔵品	—	2,323
その他	383,368	525,670
貸倒引当金	—	△3,946
流動資産合計	6,707,564	9,909,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	794	13,996
工具、器具及び備品（純額）	11,560	32,205
建設仮勘定	—	19,620
有形固定資産合計	12,355	65,821
無形固定資産		
のれん	45,653	282,682
ソフトウェア	727,482	1,539,908
その他	7,995	154,174
無形固定資産合計	781,131	1,976,765
投資その他の資産		
繰延税金資産	185,559	190,903
その他	134,766	521,628
投資その他の資産合計	320,326	712,531
固定資産合計	1,113,812	2,755,118
資産合計	7,821,376	12,664,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	872,542	3,103,530
未払金	2,647,371	3,185,958
未払法人税等	191,374	73,880
賞与引当金	85,000	174,552
役員賞与引当金	32,492	26,676
その他	46,922	507,942
流動負債合計	3,875,704	7,072,540
固定負債		
長期末払金	259,756	285,499
退職給付に係る負債	111,520	114,266
その他	—	116,937
固定負債合計	371,276	516,703
負債合計	4,246,981	7,589,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,782	1,204,812
資本剰余金	738,148	747,836
利益剰余金	1,849,057	2,253,188
自己株式	△211,591	△308,172
株主資本合計	3,574,395	3,897,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△5,646
その他の包括利益累計額合計	—	△5,646
非支配株主持分	—	1,183,061
純資産合計	3,574,395	5,075,080
負債純資産合計	7,821,376	12,664,324

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	6,412,361	8,744,991
売上原価	4,671,990	6,467,652
売上総利益	1,740,370	2,277,338
販売費及び一般管理費	1,213,273	1,760,796
営業利益	527,096	516,542
営業外収益		
受取利息	27	32
受取配当金	339	762
為替差益	1,370	758
還付加算金	768	7
その他	67	197
営業外収益合計	2,573	1,758
営業外費用		
固定資産除却損	0	1,076
その他	—	1
営業外費用合計	0	1,077
経常利益	529,669	517,222
特別利益		
補助金収入	—	75,571
特別利益合計	—	75,571
税金等調整前四半期純利益	529,669	592,794
法人税等	168,856	205,018
四半期純利益	360,813	387,776
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△16,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,813	404,131

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	360,813	387,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△10,921
その他の包括利益合計	—	△10,921
四半期包括利益	360,813	376,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,813	398,485
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△21,630

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月30日開催の取締役会決議に基づき自己株式100,000株の取得を行っております。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が96,580千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が308,172千円となっております。

(連結範囲の変更又は持分法適用範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、株式会社レコチョコの株式を取得したことにより、株式会社レコチョコ及びその子会社である株式会社エッグスを連結の範囲に含めております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える見込みであります。当該影響の概要は、連結貸借対照表の総資産の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。